

FTA分析を通した時間の悩み解決～仕事、勉強、育児の両立化～

トップ事象	下位事象1	下位事象2	下位事象3	対応策	2次試験との関連分野	
勉強時間がとれない	⇒ 仕事が忙しい	⇒ 身体的に疲労している	⇒ 業務負荷が高い	⇒ ①上司と相談し業務負荷を低減する	⇒ 事例Ⅰ(組織・人事)	
			⇒ ストレスフルな環境である	⇒ ②業務を抱えず周りと相談し仕事を振り分ける		⇒ 事例Ⅰ(組織・人事)
		⇒ 精神的に疲労している	⇒ ③効率的な業務ができないかを模索する (データ解析速度を改善する、報告書の作成効率を改善する)	⇒ 事例Ⅲ(運営・管理)		
			⇒ ④息抜きを持つ (家族と遊ぶ時間を捻出する、ご褒美の時間を設ける等)	⇒ 事例Ⅰ(組織・人事)		
	⇒ 育児が忙しい	⇒ 身体的に疲労している	⇒ 育児、家事の負担が高い	⇒ ⑤妻と相談し育児、家事の負担を軽減する (育児、家事の効率化ができないかも確認する)	⇒ 事例Ⅰ(組織・人事)、 事例Ⅲ(運営・管理)、 事例Ⅳ(財務・会計)	
				⇒ ⑥家事、育児サービスの外注により負担を軽減する (捻出できるコストも妥当かを踏まえて依頼する)		
			⇒ 精神的に疲労している	⇒ 妻との良好な関係が築けていない		⇒ ⑦妻と定期的に話し合う場を設ける (育児方針、家事の方針を擦り合わせ認識を合わせる)
		⇒ 勉強方法に問題がある	⇒ 身体的に勉強できない	⇒ 子供の顔を見る時間が少ない	⇒ ⑧家族サービスとしてのイベントを企画する	⇒ 事例Ⅱ(マーケティング・流通)
				⇒ 精神的に勉強できない	⇒ 勉強の絶対時間を捻出できない	⇒ ⑨隙間時間を活用する (通勤時間、会社の出社後、屋休憩、退社前の隙間時間)
			⇒ 勉強方法が効率的ではない	⇒ モチベーションが低い	⇒ ⑩講義や勉強会に参加してモチベーションを上げる	⇒ 事例Ⅰ(組織・人事)
			⇒ ⑪講義や勉強会にて勉強方法をブラッシュアップする	⇒ 事例Ⅰ(組織・人事)		

※上記の事象はすべてORゲート(下位の事象のうちいずれが存在すれば上位事象が発生する)と考える。